

## 2 令和8年度事業の概要

### 重点(1)学校・家庭・地域の連携・協働による未来を担う人財の育成

#### ア コミュニティ・スクールと地域学校協働活動の一体的推進

#### 県生涯学習課

CSと地域学校協働活動の一体的推進事業 53,599千円

1 CS・地域学校協働活動推進事業 10,172千円

##### [事業目的及び概要]

県域においてコミュニティ・スクール(以下「CS」という。)と地域学校協働活動の一体的推進を図り、地域全体でこどもたちの成長を支えていく体制を整備することを目的に、学校と地域との効果的な連携の在り方等を学ぶ研修会、市町村担当者を対象とした相談対応等による地域学校協働活動支援、県立学校への地域学校協働活動推進員の配置を行う事業である。

##### [事業内容]

(1) CSと地域学校協働活動に係る研修

ア 地域活動者・企業のための地域学校協働活動研修会

- 目的：地域活動者や企業等を対象とし、学校との効果的な連携の在り方や支援の仕方について県内外の先進事例を学び、参加者間で情報交換を行う。

地区	期日	会場	講師
東青	7/6(月)	県総合社会教育センター	井上 尚子
中南	7/2(木)	スポカルイン黒石	四柳 千夏子
上北	7/1(水)	東北町北総合運動公園トレーニングセンター	四柳 千夏子

- 対象：地域活動者、企業関係者、学校運営協議会委員、地域学校協働活動推進員、地域コーディネーター、市町村教育委員会担当者、地域住民 等
- 講師：一般社団法人 S. PLACE 代表理事 井上 尚子(CSマイスター)  
ひとまちみらい研究所 代表 四柳 千夏子(CSマイスター)

イ CS・地域学校協働活動研修会

- 目的：地域学校協働活動推進員の委嘱、CSの導入等について、中心的な役割をする市町村教育委員会担当者の理解を深めることも視野に入れ、教職員や教育委員会担当者等を対象とし、CSと地域学校協働活動の一体的推進に係る文科省の動向、県内外の先進事例を学び、参加者間で情報交換を行う。

地区	期日	会場	講師
西北	8/26(水)	つがる市生涯学習交流センター「松の館」	安齋 宏之
下北	9/8(火)	むつ来さまい館	猿渡 智衛
三八	9/1(火)	ハートフルプラザ・はしかみ	猿渡 智衛

- 対象：県及び市町村教育委員会担当者、地域連携を担う教職員(公立小・中・義務教育学校、県立学校)、学校運営協議会委員、地域学校協働活動推進員、地域コーディネーター等
- 講師：ふくしま学校と地域の未来研究所 代表 安齋 宏之(CSマイスター)  
金沢大学先端科学・社会共創推進機構 客員研究員 猿渡 智衛(CSマイスター)

(2) 市町村地域学校協働活動支援

ア 市町村地域学校協働活動相談支援

県内の地域学校協働活動を安定的に推進するために、統括的な役割を担う地域学校協働活動推進員を配置し、市町村教育委員会との連絡調整、地域学校協働活動の理解促進、情報提供や市町村のCS導入や地域学校協働本部の整備、推進員の配置、これらの有効な利用について、課員や統括的な役割を担う地域学校協働活動推進員が相談対応や課題解決のためのサポートを行う。

イ 学校・家庭・地域連携推進委員会等の開催

CSと地域学校協働活動の一体的推進について、総合的な在り方の検討を行うとともに、放課後児童対策について、その在り方を検討することで、CSと地域学校協働活動の一体的推進及び放課後児童対策の総合的な推進を図る。

## (ア) 学校・家庭・地域連携推進委員会

○構成：学識経験者、学校教育関係者、PTA関係者、社会教育関係者、行政関係者、福祉関係者等 15名以内

## (イ) 放課後児童対策に係る市町村担当者連絡会議

○対象：放課後児童対策に係る市町村担当者(社会教育主管課及び福祉部局)

## ウ 放課後児童対策に係る支援員等研修会【主管：各教育事務所】

○目的：放課後児童対策の事業等に関わる地域人財を対象に、学習・体験活動等の企画・実施方策、安全管理方策等の資質向上を図るための講義や、他の事業関係者等との情報交換・情報共有を図るため、合同の研修会を開催する。

○期日：前後期各1日(東青のみ前期2日)

地区	前期	後期
東青	6/9(火)、10(水)	9/9(水)
西北	5/29(金)	10/2(金)
中南	7/6(月)	11/16(月)
上北	6/10(水)	10/27(火)
下北	6/11(木)	9/17(木)
三八	6/11(木)	10/8(木)

○対象：地域学校協働活動推進員等、協働活動支援員、協働活動サポーター、特別支援・共生社会サポーター、放課後児童支援員等

## (3) 県立学校への地域学校協働活動推進員配置

CSを導入している県立学校のうち8校に推進員を配置し、県立学校における地域学校協働活動のコーディネートを行うことで、地域と学校のネットワークを構築し、教育活動の充実と教職員の業務負担軽減を図る。

○配置校：青森東高等学校、黒石高等学校、七戸高等学校、三沢商業高等学校、八戸第二養護学校、八戸高等支援学校、森田養護学校、七戸養護学校(8校)

○生涯学習課員等による指導、助言等を行う。

## 2 学校・家庭・地域連携協力推進事業費補助 43,427千円

## [事業目的及び概要]

市町村が行う地域学校協働活動の推進に要する経費に対し、県が補助を行う事業である。

## [事業内容]

地域学校協働活動(放課後子供教室を含む。)の取組を行う市町村(中核市を除く。)に補助金を交付する。

【国庫補助 1/3、県補助 1/3、市町村負担 1/3】

19市町村(地域学校協働本部 40本部、放課後子供教室 58教室)

平内町 今別町 外ヶ浜町 五所川原市 つがる市 鱒ヶ沢町 鶴田町 中泊町  
弘前市 平川市 大鰐町 十和田市 三沢市 むつ市 大間町 風間浦村 佐井村  
三戸町 五戸町

## 特別支援学校におけるコミュニティ・スクール運営事業 3,622千円

## [事業目的及び概要]

県立特別支援学校全20校に導入したコミュニティ・スクールの仕組みを生かして学校と地域の連携・協働体制の構築を目指す事業である。

## [事業内容]

○導入校：県立特別支援学校全20校

## (1) 各校における学校運営協議会の実施

○学校運営協議会委員を10名以内で任命

○年4回程度の実施

○場所、日時は各学校で設定

○年度末に学校運営協議会活動状況報告書を提出

## (2) コミュニティ・スクール連絡会議(特別支援学校)の実施

- 対象 : 県立特別支援学校関係教職員
- 期日 : 8月下旬～9月上旬
- 実施方法 : オンライン
- 内容 : 生涯学習課からの情報提供、各校の取組に係る情報提供(事例紹介、質疑応答)、運営上の課題等に係る意見交換

**高等学校におけるコミュニティ・スクール導入事業 4,523千円****【事業目的及び概要】**

全国的に拡充している県立高等学校へのコミュニティ・スクールの導入について、導入校での取組効果等を踏まえ、コミュニティ・スクールの仕組みを生かした学校と地域の連携・協働体制の構築を目指す事業である。

**【事業内容】**

- 導入校 : 県立高等学校(28校)
  - ・既導入校 : 青森西、青森北、弘前、弘前南、八戸、八戸東、八戸西、鱒ヶ沢、黒石、野辺地、百石、六ヶ所、大湊、大間、三戸、名久井農業、十和田工業、八戸水産、三沢商業、北斗、八戸中央、尾上総合(22校)
  - ・新規導入校 : 青森東、青森中央、木造、七戸、青森工業、八戸商業(6校)
- (1) 各校における学校運営協議会の実施
  - 学校運営協議会委員を10名以内で任命
  - 年4回程度の実施
  - 場所、日時は各学校で設定
  - 年度末に学校運営協議会活動状況報告書を提出
- (2) コミュニティ・スクール連絡会議(高等学校)の実施
  - 対象 : コミュニティ・スクール導入校(県立高等学校)関係教職員
  - 期日 : 8月下旬～9月上旬
  - 実施方法 : オンライン
  - 内容 : 生涯学習課からの情報提供、各校の取組に係る情報提供(事例紹介、質疑応答)、運営上の課題等に係る意見交換
- (3) 県立高等学校CS導入促進のための研修会
 

県立高等学校において、コミュニティ・スクールの仕組みを生かした学校運営やコミュニティ・スクールを運営する上での管理職や教職員の役割、留意点等について学ぶ研修会を開催し、県立高等学校へのコミュニティ・スクール導入促進を図る。また、コミュニティ・スクール既導入校におけるコミュニティ・スクールを生かした教育活動の充実を図る。

  - 対象 : 県立高等学校教職員(管理職、地域連携を担当する教員等)
  - 期日 : 11/24(火)
  - 会場 : 県総合社会教育センター
  - 講師 : 文科省CSマイスター 竹村 和之

**重点(1) イ キャリア教育支援の仕組みづくりの推進****県生涯学習課****社会教育を核とする地域ネットワーク活用促進事業 1,762千円****【事業目的及び概要】**

様々な立場から社会教育活動を支援していく人財を育成し、地域の活性化を図り、市町村の社会教育主事等の資質・能力の向上を図るため、首長部局、企業、NPO法人、地域づくり団体等の地域ネットワークを活用した事業の企画・実践を支援するとともに、地元企業等と学校のネットワーク会議等を実施する事業である。

**【事業内容】**

- (1) 社会教育主事の資質・能力向上と地域課題の解決【主管 : 東青教育事務所、下北教育事務所】
  - ア 地域課題解決スタートアップ研修会の開催

市町村の社会教育主事をはじめとする社会教育関係職員(以下「社会教育主事等」という。)、首長部局、企業、NPO法人、地域づくり団体、地域住民等が、域内の市町村における地域課題、地域素材等をもとに、地域の活性化を図る取組の方策について考えるワークショップを行い、実施可能な事業について検討する。

#### イ 事業の企画・実践【委託】

社会教育主事等、首長部局、企業、NPO法人、地域づくり団体等で構成される実行委員会が、多面的な視点で、地域に関わる課題を解決したり、地域の良さを生かしたりするための事業を企画する。また、地域ネットワークを効果的に活用し、地域人財の多様な視点を取り入れながら、企画した事業を実践する。

#### ウ 地域課題解決フォローアップ研修会の開催

「まとめ・環流」を目的に、実行委員会による実践発表及び事業成果を域内の市町村へ波及させるための意見交換等を行う。

#### (2) キャリア教育の推進【6地区 青森県教育支援プラットフォーム各地区実行委員会への事業委託】

ア 地域産業と学校の連携・協働による地域人財育成や学校・家庭・地域におけるキャリア教育充実を目的とした、青森県教育支援プラットフォーム実行委員会への事業委託

##### (ア) 地元企業と学校のネットワーク会議の開催

学校、企業、教育支援プラットフォーム、地域学校協働本部等の関係者同士がお互いに「顔の見える関係」を築き、地域の未来を担う人財像を共有するため、各地区において会議を開催し、関係者同士による意見・情報交換を行う。

##### (イ) 「我が社は学校教育サポーター」への新規登録及び登録企業の周知

各実行委員会とも関係機関と連携して情報収集しながら、新たに「我が社は学校教育サポーター」に登録する企業の新規開拓を行う。また、「我が社は学校教育サポーター」に登録されている企業について、さらなる活用を促進するために、登録企業周知を行う。

##### (ウ) キャリア教育推進のためのコーディネート業務

学校からの要望に応じて、地元企業・NPO等が実施している教育支援活動(出前授業・インターンシップ・体験活動等)に係るコーディネートを行う。

#### イ あおもりキャリア教育応援企業表彰の企画・運営

### いじめ防止キャンペーン推進事業 6,299千円

#### 【事業目的及び概要】

いじめ問題への理解と認識を深めるため、いじめ防止を内容とした標語を募集し、その優秀作品を広告動画を通じて視聴者へ語りかけることにより、広く県民のいじめ防止に向けた意識の啓発を行う事業である。

#### 【事業内容】

##### (1) いじめ防止標語コンクール

小学校、中学校、義務教育学校、高等学校及び特別支援学校に在籍する児童生徒並びに一般県民から、いじめ防止を訴える標語を募集し、優秀賞6作品程度を選定する。

##### (2) Web 広告配信

いじめ防止標語コンクールの優秀賞作品を活用した動画を制作し、YouTube 広告、Instagram 広告、TikTok 広告にて配信する。

### 県総合社会教育センター

### キャリア形成支援講座 ～大学生と青森の未来・自分の未来を“カタル”～ 1,758千円

#### 【事業目的及び概要】

ふるさとに誇りをもち、主体的に行動できる若者を育成するため、研修によって一定のスキルを身につけた大学生が、中学生・高校生とともに、生涯にわたる「自分の生き方」について考え、語り合うワークショップを開催し、双方のキャリア形成を図る。

#### 【事業内容】

##### (1) ワークショップの実施

ア 時期：夏期…8月下旬から9月下旬、冬期…1月下旬～3月上旬

- イ 対象：青森県内の高等学校及び中学校・義務教育学校 12 校（県立・私立を問わない）
- (2) 研修
- ア 基礎研修
- ・基本研修：コミュニケーション、コーチング、ファシリテーション、青森の魅力に関する事項を学ぶ研修（青森地区、弘前地区にて開催）
  - ・ワークショップ演習：演習を通じ、気持ちや考えを引き出すための方法の研修（基本研修と同時開催）
- イ 合同リハーサル研修
- ワークショップ運営の一連の流れを確認し、企画のポイントなどを確認する研修（ワークショップ開催前に実施校ごとに行う）①時期：8月、1月 ②回数：3回 ③対象：基礎研修を修了した大学生
- ウ 応用研修
- ワークショップの企画・運営に必要なマネジメント力や運営ノウハウを学ぶ研修（10月、3月に各1回、対象は基礎研修参加者のうち希望する大学生）
- エ 企画運営会議
- 大学生の代表者による、ワークショップの企画内容や運営についての意見交換（時期：5月、7月、9月、3月に各1回を予定）

<b>高校生スキルアッププログラム推進事業</b>	<b>321 千円</b>
---------------------------	---------------

**〔事業目的及び概要〕**

学校外学修への積極的な取組とレポート作成によって、高校生の知識や経験の幅を広げるとともに、社会の変化に柔軟に対応し、たくましく生きるための様々なスキルの向上を図ることを目的とする事業である。

**〔事業内容〕**

- (1) 高校生スキルアッププログラム（スキルアップ認定証・奨励証の交付）の運営
- (2) 高校生スキルアップNEWSの提供
- (3) 担当者説明会の実施
- (4) 評価サービス
- (5) 県民カレッジとの連携

<b>地域と学校をつなぐキャリア教育推進事業</b>	<b>1,249 千円</b>
----------------------------	-----------------

**〔事業目的及び概要〕**

地域と学校が互いの専門性を尊重し、「支援」から「パートナーシップ」への意識の転換を図ることにより、地域全体が一体となった教育支援体制を整え、こどもたちの社会的・職業的自立を支える持続可能なキャリア教育支援ネットワークの構築を目指す。

**〔事業内容〕**

- (1) 地域と学校をつなぐキャリア教育研修会
  - ア 期日・場所：調整中
  - イ 対象：地域学校協働活動推進員（地域コーディネーター）、教育支援プラットフォーム実行委員会教育支援推進員、地域学校協働活動に携わっている人、地域学校協働活動に関心のある地域住民、学校関係者、市町村教育委員会担当者
  - ウ 内容：①実践発表  
②講義・演習
- (2) 「我が社は学校教育サポーター」の管理・運営・普及啓発
  - ア 学校等への普及啓発
  - イ 「我が社は学校教育サポーター」ウェブサイトの運営

## 重点(1) ウ こどもの読書活動の充実

### 県生涯学習課

**こどもの読書活動推進事業 3,113千円**

#### 〔事業目的及び概要〕

「青森県こども読書活動推進計画(第五次)」に基づき、「読書で広がる あおもりっこの未来」というキャッチフレーズの下、読書に親しみ、自主的に読書活動をするこどもたちを育てるため、不読率の低減、多様なこどもたちの読書機会の確保、デジタル社会に対応した読書環境の整備、こどもの視点に立った読書活動の推進に取り組む事業である。

#### 〔事業内容〕

- (1) あおもりの中学生・高校生による『大切なあなたへ薦める青春の一冊』  
県内の中学生・高校生を対象に仲間や友だちなどに薦めたい本に関する 200～300 字程度の紹介文を募集し、秀逸な作品を選び表彰するとともにホームページ等で紹介する。
- (2) こどもの読書活動推進大会の開催  
広く県民がこどもの自主的な読書活動の意義や重要性について理解と関心を深め、家庭・地域・学校を通じた社会全体でこどもの読書活動を推進する機運の醸成を図る。  
○期日：12月上旬  
○場所：青森県総合社会教育センター(予定)
- (3) 青森県こども読書活動推進計画の周知  
作成した第五次計画概要版チラシを、生涯学習課等での主催行事の際に配布するなどして、第五次計画の周知を図るとともに、計画的にこどもの読書活動を推進するため、未策定・未改定の市町村に対して現状の訪問や聞き取りを実施し、策定・改定が進むよう指導・助言を行う。
- (4) 啓発小冊子「絵本でゆたかな親子の時間」第7版の増刷・提供  
乳幼児期からの家庭におけるこどもの読書活動の重要性に対する意識啓発を図るため、啓発小冊子(第7版)を希望する市町村等へ提供し、読み聞かせや保護者向け研修会等で活用してもらう。

### 県立図書館

**こどもの読書活動推進のための図書セット貸出事業**

#### 〔事業目的及び概要〕

こどもの読書活動の環境づくりを進めることを目的として、小・中学校、義務教育学校、高等学校、特別支援学校、市町村立図書館等に対して、幼児・児童・生徒用の図書セットを貸出する事業である。

#### 〔事業内容〕

- (1) 市町村内巡回図書セット貸出サービス  
「朝の読書」活動や読み聞かせ等に使える図書をセットにし、市町村立図書館等を経由して、小・中学校、義務教育学校、幼稚園・保育所等に貸出  
貸出：前期 6月～9月 後期 11月～2月  
種別：小学校用(低学年・中学年・高学年)、中学校用、幼児に読み聞かせする絵本・児童書、読み聞かせ活動用の大型絵本
- (2) 学習支援セット貸出サービス  
調べ学習等に使える図書をセットにし、小・中学校、義務教育学校、高等学校、特別支援学校、市町村立図書館等に貸出  
貸出：3か月以内(予約がなければ1か月ずつ3回まで延長可)  
種別：32のテーマごとのセット
- (3) ミニセット貸出サービス  
全国的なイベント等に対応した展示に使える図書をセットにし、市町村立図書館等(一部、高等学校・特別支援学校を含む。)に貸出  
貸出：3か月以内  
種別：あおもりの中学生・高校生による「大切なあなたへ薦める青春の一冊」優秀作品集セットほか4セット

## 重点(1) エ 家庭教育支援体制の充実

### 県生涯学習課

**あおもり家庭教育支援総合事業 2,514 千円**

#### 〔事業目的及び概要〕

社会や家庭を取り巻く状況の変化に伴い、家庭教育が一層困難になっていることを踏まえ、全ての親が安心して家庭教育を行うために、今日的課題に対応した家庭教育の取組を推進するための協議を行い、地域全体で家庭教育を支援していく気運を高めるとともに、親の育ちを応援する学びの機会の充実や支援のネットワークづくり等を行う事業である。

#### 〔事業内容〕

- (1) 青森県家庭教育支援推進協議会の開催  
今日的課題に対応した家庭教育の取組を推進するため、本県の家庭教育支援事業(学習機会の提供や支援者の活動を推進する研修等)について協議する。  
○回数：年3回  
○構成：有識者、家庭教育支援者など10名以内
- (2) 家庭教育学習テキスト「あおもり親楽プログラム」の周知  
「あおもり親楽プログラム」の活用促進を図るためのリーフレットを作成し、関係各所へ配布するとともに、要望に応じて「あおもり親楽プログラム」を増刷する。
- (3) あおもり家庭教育応援フォーラムの開催  
地域が一体となって子どもたちを育むことについて学びを深める講演会及び様々な家庭教育支援に関する情報提供等を通して、家庭教育についての理解と認識を深め、地域全体で家庭教育を支援する意義や必要性についての普及・啓発を行うとともに、支援者同士のネットワークを構築する。  
○対象：家庭教育支援に携わっている方、家庭教育・子育てに興味関心のある方、親子、保護者及び家族、市町村教育委員会家庭教育担当者、市町村児童福祉担当者、幼稚園・保育所・こども園職員、各種学校教職員、PTA関係者など  
○期日：11/21(土)  
○講師：島谷 留美(「ママの学校」主宰、親子カウンセラー、言葉がけコーチ)  
○場所：アピオあおもり
- (4) 地域の家庭支援を目指した多世代交流・参加型研修会  
地域の子どもからシニアまでの多世代を対象とした、気軽に参加・交流できる生涯スポーツ的なレクリエーション体験等を通じ、地域の家庭支援の土台となる全世代の健康増進や交流・活性化に寄与する研修会を県内2地区で開催する。
- (5) 読み聞かせの大切さを伝える「親子ふれあい読書アドバイザー」の養成  
県読書団体連絡協議会への委託により、読み聞かせの効果や家庭での読み聞かせの大切さを伝える「親子ふれあい読書アドバイザー」の養成と、読み聞かせ実践者のスキルアップを図る研修会を県内6地区で開催する。

### 県総合社会教育センター

**家庭教育支援普及啓発事業 4,055 千円**

#### 〔事業目的及び概要〕

青森県の家庭教育支援を推進するため、親子で気軽に学べる学習機会の提供や情報を発信することにより、家庭での教育力を高め、子どもの健やかな成長を支援するとともに、県の家庭教育支援に関する取組について、広く普及啓発する。

#### 〔事業内容〕

- (1) 親子の学び応援フェアの開催
- (2) 各種広報

**家庭教育相談事業 1,088 千円**

#### 〔事業目的及び概要〕

子育て中の不安や悩みを軽減するため、乳幼児から高校生までの子を持つ保護者やその家族を対象に、

電話・メール等により、寄り添い型の家庭教育相談を行う。

〔事業内容〕

- (1) 対象：乳幼児から高校生までの子を持つ保護者やその家族
- (2) 実施方法：電話相談・週3回 月・水・木曜日(祝日・年末年始を除く) 13:00～15:00  
メール相談・24時間受付
- (3) 場所：県総合社会教育センター電話相談室
- (4) 対応内容：発育・発達、しつけ、対人関係などのこどもに対する悩みや家庭教育全般について
- (5) 相談体制：家庭教育相談員が対応

**家庭教育支援者養成事業 1,084千円**

〔事業目的及び概要〕

地域における家庭教育支援体制を整備するため、家庭教育支援者としての理論学習や心構えを学ぶ講座を開催し、子育てを応援する人財を育成・活用する。

〔事業内容〕

- (1) あおもり家庭教育アドバイザー養成講座
  - ア 場所：東青地区：県総合社会教育センター/上北地区：三沢市国際交流教育センター
  - イ 定員：各30名
  - ウ 対象：家庭教育支援者を目指す人及び活動中の人、家庭教育支援に関心のある人、市町村の家庭教育担当者等
  - エ 内容：今日的な家庭教育支援の現状についての講義・演習

回	期日・地区	内容・講師
1	6/11(木)・東青	オリエンテーション 講義「家庭教育支援者の役割・心構え」 特定非営利活動法人十和田NPO子どもセンター・ハピたの 代表理事 中沢 洋子
	6/24(水)・上北	
2	7/23(木)・東青	講義「子どもの気持ちを理解するために」 八戸学院大学短期大学部 こども教育学科 教授 差波 直樹 演習「あおもり親楽プログラムⅠ」 県総合社会教育センター 職員
	7/27(月)・上北	
3	8/28(金)・東青	見学・講義 家庭教育支援チーム・子育て支援団体等見学 東青地区 学校法人 認定こども園 油川幼稚園 園長 敦賀 努子 上北地区 Joyful pop 代表 小比類巻 麻衣
	8/19(水)・上北	
4	9/10(木)・東青	講義「気になる子どもの理解と対応」 青森県発達障がい者支援センターDoors センター長 分枝 篤史 演習「あおもり親楽プログラムⅡ」 県総合社会教育センター 職員
	9/24(木)・上北	
5	10/14(水)・東青	講義「今、親が悩むこと～親子のコミュニケーション～」 岩手大学人文社会科学部 准教授 萩臺 美紀 演習「あおもり親楽プログラムⅢ」 県総合社会教育センター 職員
	10/26(月)・上北	
6	11/11(水)・東青	演習「あおもり親楽プログラムⅣ」 県総合社会教育センター 職員
	11/18(水)・上北	

- (2) あおもり家庭教育アドバイザーフォローアップ研修

- ア 期日：9/27(日) 9:00～12:00
- イ 対象：あおもり家庭教育アドバイザー
- ウ 会場：県総合社会教育センター
- エ 内容：演習「あおもり親楽プログラム」 県総合社会教育センター職員

- (3)あおもり家庭教育アドバイザーの活用  
 ア アドバイザー登録情報の管理  
 イ アドバイザー派遣

## 重点(1) オ こどもの体験活動の充実

### 県立梵珠少年自然の家

県立梵珠少年自然の家主催事業 1,931千円

#### (1)看板事業(こども事業)

##### [事業目的及び概要]

小学生から中学生までの「こども」を対象に、豊かな自然環境の中で行うキャンプ・野外炊事などの様々な自然体験活動を通して、基本的な生活習慣や仲間と協力しようとする態度を育てていく事業である。

##### [事業内容]

事業名	期 日	対 象	募集人員	内 容
9歳アドベンチャーキャンプ	①7/11(土)～ 7/12(日) ②10/10(土)～ 10/11(日) 【1泊2日】	小学3年～ 4年、 義務教育学校 3年～4年 の児童	各回 36名	野外活動(アドベンチャーゲーム、梵ファイヤー)、野外炊事、思い出クラフト、館内シュラフ泊など
夏のチャレンジキャンプ	8/7(金)～ 8/10(月) 【3泊4日】	小学5年～ 中学3年、 義務教育学校 5年～9年 の児童生徒	36名	野外活動(登山、ラフティング、梵ファイヤー)、館内泊、野外炊事、食材買い出し、思い出クラフトなど
冬の3days キャンプ	1/7(木)～ 1/9(土) 【2泊3日】	小学4年～ 中学2年、 義務教育学校 4年～8年 の児童生徒	30名	かまくら基地作り、炊事、チューブそり遊び、スノーシューハイキング、思い出クラフト、館内泊など
7歳わんぱくキャンプ	2/13(土)～ 2/14(日) 【1泊2日】	小学1年～ 小学2年 義務教育学校 1年～2年 の児童	24名	スノーランド作り・遊び、雪上ミニ運動会、館内炊事、思い出クラフト、館内泊など

#### (2)養成事業

##### [事業目的及び概要]

当施設利用団体の引率者や高校生・大学生などを対象に、豊かな自然環境の中で行う活動プログラムや自然体験活動を安心・安全に実施するための研修やセミナー及び講座等の開催をとおして、自然体験活動の指導者及びボランティアを養成する事業である。

## [事業内容]

事業名	期 日	対 象	募集人員	内 容
施設利用団体事前研修	(全体研修会) 4/15(水) (事前打合せ) 利用日の14日前 までに実施	令和8年度 利用予定団 体の引率者	全体研修 会は希望 者のみ 事前打合 せは必須	(全体研修会)講義、説明、活動プログラム体験 (事前打合せ)引率者との打合せ、 施設内見学、活動プログラムの事 前指導など
自然体験活動 ぼんじゅボランティア セミナー 【必修】 ・入門セミナー 【選択】 ・春を楽しむサン day ・ファミリーS キャンプ ・9歳アドベンチャーC① ・ネイチャークラブ① ・夏のチャレンジキャンプ ・ネイチャークラブ② ・9歳アドベンチャーC② ・ぼんじゅフェスタ ・ネイチャークラブ③ ・冬をいろどるクラフト day ・ウィンタースクール ・冬の3days キャンプ ・冬を楽しむホワイト day ・7歳わんぱくキャンプ 【任意】 ・ふりかえりセミナー	実施日は各事 業を参照  ※入門セミナー 5/9(土) ※ふりかえり セミナー 3/6(土)	高校生及び 大学生	定員は各 事業によ り異なる	ボランティアに登録後、必修の 「ボランティア入門セミナー」を 受講し、看板事業、親子事業、学 習・生活習慣支援事業の全14事業 の中から1つ以上を選択して受講 する。なお、「ボランティアふりか えりセミナー」は任意参加とする。  活動内容は、事業によって以下 のように異なる。 【看板・学習・生活習慣支援事業】 ・担当グループの活動・生活支 援 ・実践企画の運営(アイスブレ イクなど) ・キャンプ等の野外活動におけ る基本的な知識や技術の習得 【親子事業】 ・担当ブースの運営 ・参加者への活動支援等 ・各プログラムの準備や片付け スタッフ補助等
ぼんじゅ出前講座	通年実施 【各回即日】 ※直接指導は 11月～3月 のみ対応 間接指導は全 ての月で対応	小・中学校、 義務教育学 校、各種学 校、青少年 教育団体、 幼児施設等	特に定め ない	対象の団体が開催する各種行事 や事業において、直接指導又は間 接指導を行う。 なお、派遣職員の旅費は無料と し、活動材料費や用具運搬費は団 体の負担とする。

## (3) 親子事業

## [事業目的及び概要]

小・中学生を含む保護者とその家族、いわゆる「親子」を対象に、豊かな自然環境の中で行う自然に親しむための体験活動や創作活動などを通して、家族のふれあいや絆を深める機会を提供する事業である。

## [事業内容]

事業名	期日	対象	募集人員	内容
春を楽しむサン day	4/25(土)	小・中・義務教育学校の児童生徒を含む保護者とその家族	定員なし ※自然観察のみ 20 家族	春の自然観察、野外炊事、創作活動など
ファミリー スプリングキャンプ	5/23(土)～ 5/24(日) 【1泊2日】		24 家族	テント泊、野外炊事(ダッチオープン・ホットサンドメーカー料理)野外活動・創作活動(選択制)など
秋を楽しむ ワクワク day	11/1(日)		定員なし ※各体験 ブースによっては 定員あり	館内食体験、野外炊事体験(ダッチオープン、ホットサンドメーカー、南部せんべい焼きなど)、野外活動体験(火起こし体験&棒パン作り、屋外遊びリンピック)、創作活動体験(本格リース作り、創作活動プログラムなど)
冬をいろどる クラフト day	12/5(土)		各時間帯 で20 家族 ※4 回の時間帯で実施	正月用クラフト(ミニ門松、ぼんじゅ絵馬、ぼんじゅバンブーランタンなど)とクリスマス用クラフトから選択
冬を楽しむ ホワイト day	1/30(土)		各活動につき 10 家族	野外活動①(ミニ雪灯籠作り・スノーシューハイキング・雪上ミニ運動会から選択) 野外活動②(チューブそり遊び・スノーランド遊びなど自由に体験)

## (4) 学習・生活習慣支援事業

## [事業目的及び概要]

小学生から中学生までの「こども」を対象に、豊かな自然環境の中での体験活動を行いながら、主体的に学ぶ姿勢や規則正しい生活を送る活動を通して、その後の学校・家庭生活に役立てていこうとする基礎的な生活態度を育てていく事業である。

## [事業内容]

事業名	期日	対象	募集人員	内容
ぼんじゅネイチャー クラブ	① 7/25(土) ② 8/29(土) ③ 11/28(土)	小学3年～ 小学6年、 義務教育学校 3年～6年 の児童	各回 20 名	① 昆虫採集、カブトムシの観察 ② 水中生物観察、ザリガニ釣り ③ 秋の創作活動、リースの製作
ぼんじゅウィンター スクール	12/25(金)～ 12/27(日) 【2泊3日】	小学4年～ 中学2年 義務教育学校 4年～8年 の児童生徒	10～20 名	学習タイム、館内食、歯みがきタイム、野外観察、リフレッシュタイム、清掃活動、自由研究、館内泊など

## 県立種差少年自然の家

県立種差少年自然の家主催事業(自然と遊ぼう、こどもの祭典) 1,817千円

### 〔事業目的及び概要〕

年長児・小・中・義務教育学校の児童生徒が自然の中で家族や仲間とのふれあいを深めながら、心豊かでたくましいこどもを育てることを目的として、種差少年自然の家周辺の山野や海での自然体験活動や創作活動、キャンプ活動などの学習機会の提供をする事業である。

### 〔事業内容〕

#### (1) 自然と遊ぼう

活動名	期 日	対 象	募集定員	内 容
たねさしワールド 「春を感じて」	5/10(日)	年長児・ 小・中・義務教育学校の児童生徒とその保護者	100名	春の自然を楽しもう ・潮風トレイルウォーク、創作活動 他
たねさしワールド 「エンジョイ! 海遊び」①②③④ ※4回開催	7/4(土)		100名	海で思いっきり遊ぼう ・いかだやカヌー遊び、サンドクラフト、磯遊び 他
	7/5(日)		100名	
	8/29(土)		100名	
	8/30(日)		100名	
たねさしワールド 「秋を感じて」	10/18(日)		100名	秋の自然を楽しもう ・里山散策、創作活動 他
たねさしワールド 「冬の季節を感じて」 ※2回開催	12/5(土)		50名	創作リースをつくろう ・クリスマスリース
	12/6(日)	50名		
たねさしワールド 「エンジョイ! 雪遊び」①② ※2回開催	2/6(土)	4歳以上の 幼保・小・ 中・義務教育学校の児童生徒とその保護者	100名	冬の自然を楽しもう ・スノーチューブすべり、そりすべり、せんべい焼き、たこ揚げ 他
	2/7(日)		100名	
たねさしワールド 「こども大作戦」 ①② ※2回開催	2/27(土) ～28(日)	小・義務教育学校 3年～4年	40名	こどもだけでとまってみよう ・仲間づくり、創作活動、自然体験活動 他
	3/6(土) ～7(日)	小・義務教育学校 1年～2年	40名	

#### (2) こどもの祭典

事業名	期 日	対 象	募集定員	内 容
おいでよ! サマーキャンプA	7/29(水) ～30(木)	小学5年～ 中学3年、 義務教育学校5～9年	30名	・テントでの宿泊体験 ・野外炊事
おいでよ! サマーキャンプB	8/8(土) ～9(日)		30名	・ナイトハイク ・山や海での活動 他
わくわくどきどき ウインターキャンプ	12/25(金) ～27(土)		20名	・冬の野外テントでの宿泊体験 ・野外炊事 ・ウォークラリー 他

**自然体験活動支援事業 128 千円****【事業目的及び概要】**

学校や公民館、児童館、放課後児童クラブなどの身近な施設内外の活動場所で、こどもたちに自然体験活動やニュースポーツ活動の場を提供することを目的として、種差少年自然の家職員が現地に出向いて自然体験活動、創作活動、ニュースポーツ活動の実地支援を行う。また、自然体験活動、創作活動、ニュースポーツ活動の指導者の資質能力の向上を目的として、小・中学校等の教職員及び青少年団体指導者、市町村社会教育関係者等の指導職員を対象に行う研修事業である。

**【事業内容】**

事業名	期 日	対 象	募集定員	内 容
自然体験活動 出前講座	4・5月及び 10～3月 *6～9月は原則として実施なし	三八、上北管内の小・中・義務教育学校、児童館、公民館、放課後児童クラブ、青少年団体や成人団体 等	1団体 10名 以下可	・種差少年自然の家のプログラムの中で出前対応可能なもの (せんべい焼き、フォトフレーム、どんぐりアート、たねさし芝っこぞう、たねさし万華鏡、ミニ門松 他)
自然体験活動 研修会	5/30(土) ～31(日)	幼保・小・中・義務教育学校教員、高校・大学生、児童館など関係機関の指導者、その他自然体験活動に興味のある方	30名	・野外炊事や創作活動等のプログラムの実習 ・自然体験活動にかかわる実習 ・危機管理対応訓練 他

**在学少年宿泊指導者研修****【事業目的及び概要】**

種差少年自然の家を利用する小・中学校・義務教育学校及び特別支援学校の引率教員を対象に、宿泊学習や野外活動等を効果的に行うことを目的として、活動プログラムの内容・指導の仕方や施設・設備の利用の仕方等について研修するとともに、利用する際の日課表を具体的に作成する事業である。

○期日：4/23(木)～24(金)

○場所：種差少年自然の家

○対象：令和8年度利用小・中・義務教育学校及び特別支援学校の引率教員

**【事業内容】**

○講義：社会教育施設としての自然の家の効果的な利用の仕方

○実習：活動プログラムの実習(野外、自然、創作活動、夜の活動)、施設等の利用方法

○演習：活動計画の立案、プログラムの相談、事前打合せ、確認事項

**親子で学ぶ防災キャンプ事業 110 千円****【事業目的及び概要】**

種差少年自然の家を避難所とし、避難場所の整備・運営を体験することによって、自然災害時における実践的な防災力・減災力を育むことを目的として、小・中・義務教育学校の児童生徒とその家族及び小・中・義務教育学校の教員を対象に行う研修事業である。

**【事業内容】**

事業名	期 日	対 象	募集定員	内 容
親子の絆 「防災キャンプ」	9/26(土) ～27(日)	小・義務教育学校3年生以上と保護者、防災に関心のある方	10組 30名	親子キャンプで防災力、減災力を身に付けよう ・避難所体験 ・非常食の炊事体験 ・AED講習 ・防災グッズ作り 他

## 重点(2) 地域の強みを生かした地域づくりを担う人財の育成

### ア 地域活動の実践者、コーディネーターの養成

#### 県総合社会教育センター

地域活動講座～パワフルAOMORI！創造塾～ 885 千円

##### 〔事業目的及び概要〕

持続可能な地域活動を支える人財を育成するとともに、育成した人財相互及び地域活動に関わる関係者等のネットワーク形成を促進することを目的として、活力ある持続可能な地域づくりに係る講義・演習等を行う事業である。

##### 〔事業内容〕

- (1) 期日：第1回講座 7/11(土)  
第2回講座 8/29(土)  
第3回講座 10/ 3(土)  
第4回講座 10/25(日)  
第5回講座 11/14(土)  
第6回講座 12/ 5(土)
- (2) 場所：県総合社会教育センター、TSURUTA LABO(第3回講座)、浅虫がっちゃんこセンター(第4回講座)
- (3) 対象：青森県在住(18歳以上)、地域を元気にしたいという想いのある方、ネットワーク形成に協力できる方、1年間を通じて参加できる方
- (4) 募集人数：20名程度
- (5) 受講料：無料(但し、交通費や通信費は自己負担)
- (6) 内容：講師による講義、フィールドワーク、演習(アクションプラン作成、アクションプラン発表会)、情報交換会

## 重点(2) イ 郷土に誇りを持ち、地域の次代を担う若者の育成

#### 県生涯学習課

若者の社会参加促進事業 695 千円

##### 〔事業目的及び概要〕

不登校が続いている高校生や、ひきこもり・ニート等の課題を抱える若者の社会参加を促進することを目的として、ボランティア・就労体験や自然体験活動を実施する事業である。

##### 〔事業内容〕

不登校が続いている高校生や、ひきこもり・ニート等の課題を抱える状況にあり、社会とのつながりのきっかけを求めている16歳～概ね40歳の若者を対象に、自然体験・交流塾を、種差少年自然の家及び梵珠少年自然の家等にてそれぞれ3回ずつ実施する。

- (1) 自然体験・交流塾
  - ア 第1回【自然体験活動】
    - 期日：[梵珠会場] 7/4(土) [種差会場] 7/11(土)
    - 場所：県立梵珠少年自然の家、県立種差少年自然の家
    - 内容：自然体験活動、創作活動 等
  - イ 第2回【体験活動を通じた交流会】
    - 期日：[梵珠会場] 10/3(土) [種差会場] 9/12(土)
    - 場所：県立梵珠少年自然の家、県立種差少年自然の家
    - 内容：野外炊事、創作活動 等
  - ウ 第3回【ボランティア・就労体験】
    - 期日：[梵珠会場] 1/23(土) [種差会場] 2/13(土)
    - 場所：県立梵珠少年自然の家、県立種差少年自然の家

○内容：ボランティア・就労体験、創作活動 等

(2) 自然体験・交流塾協力団体等連絡会議

第1回自然体験・交流塾開催前と第3回自然体験・交流塾終了後、会場ごとに支援団体等が参加者の情報共有をするとともに、成果と課題、活動内容等について話し合う。

## 県総合社会教育センター

高校生地域活動講座～チャレンジAOMORI！未来塾～ 1,323千円

### 〔事業目的及び概要〕

主体的に活動する次世代を担う青少年の育成を目的として、高校生が地域活動を支える地域の人財等から、地域の価値や魅力、活力ある地域づくり等について学ぶ研修を行う事業である。

### 〔事業内容〕

- (1) 期日：第1回講座 7/25(土)  
第2回講座 7/26(日)  
第3回講座 8/9(日)  
第4回講座 8/23(日)  
第5回講座 9/6(日)  
第6回講座 11/1(日)  
第7回講座 12/13(日)
- (2) 場所：県総合社会教育センター(第1・2・7回講座)、十和田NPO子どもセンター・ハピたの(第3回講座)、むつ市立図書館(第4回講座)、黒石市北地区センター(第5回講座)、種差海岸インフォメーションセンター(第6回講座)
- (3) 対象：本県在住の高校生、本県の高校に在籍している生徒  
※上記のいずれかの条件を満たす者
- (4) 募集人数：30名程度
- (5) 受講料：無料(ただし、フィールドワークにおける交通費や通信費は自己負担)
- (6) 内容：講師による講義・演習、フィールドワーク選択受講【県内4地区での実施】、感想交流会・オンライン交流会

## 重点(3) 人生100年時代の学び直しや生涯学習の推進

### ア 県民の学び直しやリカレント教育の推進

#### 県総合社会教育センター

##### あおもり県民カレッジ運營業務

###### 〔事業目的及び概要〕

あおもり県民カレッジは、県民一人一人の主体的な学習と社会参加の推進を目指す体系的・継続的な学習支援システムである。その趣旨を踏まえ、学生に対するきめ細かな対応及び連携機関との緊密な連携など適切な運営を行う。また、イベントの開催や情報誌による普及啓発を行うとともに、学習相談・学習情報提供、学習機会の提供、ボランティア活動支援等を行う。

なお、カレッジ運営に当たっては、SDGsの各目標を意識した学習活動とするための働きかけを行う。

###### 〔事業内容〕

###### (1) 運営全般

###### ア カレッジ学生への対応

学生募集、学生証の交付、単位認定、認定証交付者表彰式の実施、単位認定に係るサービス、学友会の活動支援

###### イ 連携機関への対応

登録受付、連携機関連絡会議の開催、共催による講座(地域キャンパス講座)の開催

###### (2) 普及啓発

###### ア 生涯学習フェアの開催

###### イ こども向けイベントの開催

###### ウ 情報収集

連携機関等への取材、社会参加活動に関する情報収集

###### エ あおもり県民カレッジ&生涯学習情報誌「てのひら」の発行による情報提供

###### オ 各種メディアを利用した広報

###### カ ホームページ、Facebook、Instagramによる情報提供

###### (3) 学習相談・学習情報提供

###### ア 学習相談

###### イ 学習機会情報、ボランティア活動情報の収集・提供

###### (4) 学習機会提供

###### ア 地域キャンパス講座の開催(県内6地区で開催)

###### イ Web会議システム等の活用研修

###### (5) ボランティア活動の支援

###### ア 社会参加活動支援センターの運営

###### イ ボランティア講師による自主講座の開催

###### ウ 「まなびサポーター」の募集と活動支援

#### 県立図書館

##### 近代文学館 特別展開催事業 1,799千円

###### 〔事業目的及び概要〕

文学に関心を寄せる方から普段文学に馴染みのない方まで、幅広い層の来館者の獲得及び青森県の近代文学に関する理解を深めることを目的として、特定のテーマに沿った特別展を開催する事業である。

###### 〔事業内容〕

###### (1) 名称：特別展「あおもりの文学とスポーツ」

###### (2) 会期：7/18(土)～11/1(日)

###### (3) 内容：青森の作家とスポーツにまつわる資料を通じて、文学とスポーツの交わりについて紹介する。

令和8年に本県で開催される第80回国民スポーツ大会及び第25回全国障害者スポーツ大会の開催機運を盛り上げる。※青の煌めきあおもり国スポ・障スポ文化プログラム事業

**近代文学館 企画展開催事業 764 千円****〔事業目的及び概要〕**

文学に関心を寄せる方から普段文学に馴染みのない方まで、幅広い層の来館者の獲得及び青森県の近代文学に関する理解を深めることを目的として、近代文学館が収蔵している資料を中心に展示・公開する企画展を開催する事業である。

**〔事業内容〕**

- (1) 名称：企画展「あおもりの昭和歌謡―青い山脈、リンゴの唄、そして淡谷のり子」
- (2) 会期：12/5(土)～3/7(日)
- (3) 内容：令和8年(2026年)は、昭和元年(1926年)から起算して満100年に当たる。その節目の年度に、青森県ゆかりの昭和歌謡に関わる資料及び音源を紹介する。

**重点(3) イ 郷土を愛する県民の生涯学習と学びを通じた社会参加の推進****県生涯学習課****ふるさと青森を愛する人づくり推進事業 7,049 千円****〔事業目的及び概要〕**

県民が自信を持って自分の生き方を語れるような意識変革を促すとともに、こどもたちのキャリア形成と郷土愛の醸成につなげることを目的として、地域の良さや青森で働く魅力を地域の大人が再発見するワークショップ、こどもたちとの交流会等を実施する事業である。

**〔事業内容〕**

- (1) 再発見！「かっこいい大人」ワークショップ
  - 8月頃に県内6地区で、地域の大人を対象にワークショップを開催する。(地域学校協働活動推進員等の呼びかけ)
  - 内容：講義「こどもと大人の対話の作り方、自分史年表について」  
演習「自分史年表を作ろう」  
参加者を地域の良さや魅力を知る「かっこいい大人」(青森愛にあふれ、知的好奇心旺盛な人、変化を恐れず常に自分を高める人など、各分野で学び続けている人)として認定する。
- (2) 見つけたよ！キラリ発見「かっこいい大人」交流会
  - 11・12月に県内6地区で、地域の大人(かっこいい大人)、校区内のこどもたちを対象に交流会を開催する。
  - また、交流会前には、こどもたちから地域の魅力等を募集することで、こどもたち自身が青森の良さや魅力を主体的に考えるきっかけをつくり、地域への関心をもつ機会とする。
- (3) 伝えよう！「青森県の大人はみんなかっこいい」イベント
  - 1月に青森市内で、地域の大人を対象に気づきやつながりを振り返るイベントを開催する。
  - 内容：ふるさと青森を愛する著名人、かっこいい大人とのトークセッション

**県総合社会教育センター****社会参加活動推進講座 120 千円****〔事業目的及び概要〕**

地域活動の様々な実践事例について学ぶことで、県民の社会参加活動に対する意欲の向上と、社会参加活動の推進及び充実につなげる。

**〔事業内容〕**

- (1) 期日：7/3(金)10:30～15:45
- (2) 場所：県総合社会教育センター
- (3) 対象：市町村教育委員会及び首長部局職員、NPOやボランティア関係団体、市町村社会福祉協議会職員、地域活動に関心のある一般県民等
- (4) 開催方法：会場受講、オンライン受講、アーカイブ受講

(5) 内容：事例発表(各 75 分)

第一部：青森県PTA連合会 会長 棟方 丈博

第二部：弘前大学人文社会科学部 教授

弘前大学地域創生本部ボランティアセンター センター長 李 永俊

第三部：ボランティア書道教室俊文書道会 代表

県立八戸第二養護学校 校長 西里 俊文

### 重点(3) ウ 性別・年齢・障がい等の有無に関わらない多様なニーズに応じた生涯学習環境の充実と社会参加活動の推進

#### 県生涯学習課

##### 特別支援学校における障がいに関する理解促進事業 1,458 千円

###### 〔事業目的及び概要〕

県立特別支援学校において、障がいのある児童・生徒を有する父母等が、こどもの健やかな成長のために、障がい児(者)の心理や行動について理解を深めたり、家庭における教育や卒業後の就労などについて必要な知識を習得したりするほか、県民を対象に特別支援学校の有する専門性を生かした公開講座を実施し、障がいに関する理解促進を図るための取組を行う。

###### 〔事業内容〕

○場 所：県立特別支援学校(20校)

○開設時間：各4日間 10時間程度  
公開講座を開設する場合は14時間程度

○対 象：障がいのある児童生徒の保護者、一般県民等

○学習内容：児童生徒の心理や行動、障がい者の就労、福祉、体育及びレクリエーション、特別支援学校が有する専門性と公益性の高い分野に関すること

##### 障がい者の生涯学習支援事業 1,134 千円

###### 〔事業目的及び概要〕

特別支援学校卒業生の自立と社会参加を支援することを目的として、集団学習や趣味の講座、障がい者スポーツを通して他の卒業生や在校生、地域住民等と交流する機会を提供する事業である。

###### 〔事業内容〕

○場所：県立特別支援学校(15校)

○時間：各3日間 8時間程度

○対象：障がいのある青年等

○内容：(1) 社会参加学習  
(一般教養の向上、職業生活、日常生活を豊かにすること、障がい者の福祉)  
(2) スポーツ体験交流

##### 共生社会の実現に向けた障がい者の生涯学習支援事業 7,000 千円

###### 〔事業目的及び概要〕

学校卒業後の障がい者の学びの場を拡充することを目的として、関係部署・機関・団体等が連携体制を構築し、障がいの有無にかかわらず共に生きる共生社会の実現に向けた社会全体の理解を促進するとともに、持続可能な学びの仕組みづくりを推進する事業である。

###### 〔事業内容〕

(1) 連絡協議会(コンソーシアム)の開催

参画する機関がそれぞれ得意とする役割を担い、地域全体の障がい者の生涯学習や共生社会の実現に資する学びのシステムの構築に向けた具体的な連携に関する協議等を行う。

○構成：有識者、社会教育関係者、障がい福祉関係者など10名程度

○回数：年4回

- (2) 障がい者の生涯学習プログラムを実施する多様な主体(市町村、大学、民間)に対する支援  
 大学及び公民館といった教育施設や社会福祉施設など、多様な実施主体において障がい者の生涯学習活動を実施している団体において、障がい者の生涯学習プログラムを実施してもらうとともに、相談支援等を行う。
- (3) 障がい者の学びを支援する人財の育成に資する研修の実施  
 3地区(中南、三八、下北地区)において、各3回実施予定。  
 ○第1回：障がい福祉関係者が、社会教育や生涯学習、福祉教育等について理解する。障がい福祉事業所のできる生涯学習について考える。  
 ○第2回：社会教育関係者が、障がいや障がい者、合理的配慮等について理解する。障がい者の生涯学習の現状を知り、支援の必要性を学ぶ。  
 ○第3回：社会教育及び障がい福祉関係者が、学校卒業後の障がい者の学びを拡充するためには双方の連携が必要であることを学ぶ。また、先進的な取組をしている団体や個人を講師として招き、意欲を喚起するとともに、具体的なノウハウを学ぶ。
- (4) 地域における関係団体、支援者、障がい者本人等が参加する共生社会コンファレンス(実践交流会)の実施  
 障がい者の生涯学習活動関係者が集い、学びの場づくりに関する好事例や先進的な取組を共有し、障がい者の生涯学習活動に関する研究協議等を行う。  
 ○日時：11～12月頃  
 ○場所：未定  
 ○対象：都道府県・市町村教育委員会生涯学習・社会教育担当職員、公民館・図書館職員、市町村障がい福祉担当課職員、福祉サービス事業所職員、障がい当事者、障がい者の学習支援実践者、大学関係者、保護者、教職員、企業、ボランティア・地域活動実践者等で関心のある方、障がい者の学びに関心のある方  
 ○内容：ア 文部科学省障害者の生涯学習推進アドバイザーによる基調講演  
 イ 学びの場づくりに関する好事例や先進的な取組等の実践発表  
 ウ 関係者間の出会いの場の創出(トークセッションやグループ協議)  
 エ 普及啓発(展示発表、障がいの有無にかかわらず体験活動等)

## 県総合社会教育センター

**学習情報の収集・提供事業 10,946千円**

### 〔事業目的及び概要〕

県民の生涯学習活動を促進するために必要とされる各種情報を収集し、一覧をインターネットにより県民へ提供するほか、いつでも、どこでも、インターネットで手軽に学べるeラーニング教材の配信及び管理を行うとともに、サーバ・パソコン機器等を維持管理し、ICT講座等を実施できる環境を整備する事業である。

### 〔事業内容〕

- (1) 学習情報の収集・提供  
 4情報(学習機会、指導者人材、団体・サークル、視聴覚教材)の収集・提供
- (2) インターネットによるeラーニング学習教材の配信  
 ア 元気青森人PowerUpコンテンツ  
 イ あおもり学インターネット講座  
 ウ あおもり子育てネット
- (3) サーバ・パソコン機器等維持管理  
 学習情報提供に係るサーバ・パソコン機器及び実習用機器の整備

**視聴覚ライブラリー運営事業 635千円**

### 〔事業目的及び概要〕

県内の視聴覚教育の振興発展に寄与するに当たり、「青森県視聴覚ライブラリー」を運営し、映像資料の収集・保管、および活用を図る。

### 〔事業内容〕

- (1) 社会教育及び県民の学習活動のための視聴覚資料の提供

- (2) 視聴覚教材の購入
- (3) 視聴覚教材のデジタル化業務
- (4) 保管されている映像資料の点検と台帳管理

## 県立図書館

読書バリアフリー推進事業	1,668千円
--------------	---------

### 〔事業目的及び概要〕

さまざまな障がいのある方に図書館をより利用しやすい環境を提供するため、大活字本やデジタイズ図書等のアクセシブルな書籍の購入や読書バリアフリーのための機器・用具を整備する他、障がいなどの事由により、図書館への来館が困難な方に対して、宅配便による図書の搬送を行う事業である。

### 〔事業内容〕

- (1) 読書バリアフリー推進に係るアクセシブルな書籍や機器・用具等の整備
- (2) 関係団体・機関への情報提供
- (3) 障がい者等配本サービス(アウトリーチサービス)

## 重点(4) 社会教育推進のための基盤整備

### ア 社会教育推進体制の充実

#### 県生涯学習課

生涯学習推進基盤整備事業(生涯学習推進本部、青森県生涯学習審議会) 1,084 千円

##### [事業目的及び概要]

生涯学習振興法(生涯学習の振興のための施策の推進体制等の整備に関する法律)の趣旨を踏まえ、本県の生涯学習推進体制の整備を目的として、生涯学習推進本部等を運営する事業である。また、生涯学習推進に資する施策の総合的な推進に関する重要事項について調査、審議することを目的として、生涯学習審議会を運営する事業である。

##### [事業内容]

#### (1) 生涯学習推進本部

生涯学習に関する関係部局相互の連携、協力を図り、生涯学習関連施策を一体的、効果的に進めるため、県の関係各課、出先機関等が実施する生涯学習関連事業について調査を行い、結果を取りまとめる。

#### (2) 生涯学習審議会

##### ア 第17期生涯学習審議会

○委員：15名

○任期：2年(R6/10/19～R8/10/18)

○諮問：ふるさと青森を愛し、誇りに思う人づくりに向けた生涯学習・社会教育における推進方策について

○審議事項：1 公民館等の社会教育施設におけるこどもたちの継続的な地域学習の推進について

：2 こどもたちの主体的な地域活動の促進について

：3 地域に根付いた持続可能な取組にするための仕組みづくりについて

○会議等(予定)：第6回審議会(6月)、第7回審議会(7月)、教育委員会に中間報告(8月)

##### イ 第18期生涯学習審議会

○委員：15名

○任期：2年(R8/10/19～R10/10/18)

○諮問：ふるさと青森を愛し、誇りに思う人づくりに向けた生涯学習・社会教育における推進方策について

○審議事項：1 公民館等の社会教育施設におけるこどもたちの継続的な地域学習の推進について

：2 こどもたちの主体的な地域活動の促進について

：3 地域に根付いた持続可能な取組にするための仕組みづくりについて

○会議等(予定)：第1回審議会(10月)、第2回審議会(1月)、実地調査(2月～)

生涯学習・社会教育総合調査研究事業 705 千円

##### [事業目的及び概要]

本県における生涯学習・社会教育の推進を図るための基礎資料を得ることを目的として、生涯学習・社会教育支援体制に関する調査を行う事業である。

##### [事業内容]

児童・生徒、一般県民、社会教育団体・機関等を対象にアンケート方式による調査を行い、その結果を分析し、報告書にまとめる。

○調査テーマ：未定

○調査対象：未定

○顧問の委嘱：未定(調査研究に係る指導助言のため、大学教授等に研究顧問を委嘱する。)

○報告書：関係機関に配布するほか、ホームページで公開

青森県社会教育委員の会議の運営 248 千円

##### [事業目的及び概要]

社会教育法第17条に基づき、県教育委員会に答申、建議を行うことを目的として、本県社会教育の

振興方策について審議及び調査研究を行う事業である。

**【事業内容】**

- (1) 第37期青森県社会教育委員の会議
  - 委員：8名 ※青森県生涯学習審議会委員との兼務
  - 任期：2年(R6/10/19～R8/10/18)
  - 調査研究テーマ：ふるさと青森を愛し、誇りに思う人づくりに向けた生涯学習・社会教育における推進方策について
  - 会議等(予定)：第3回会議(5月)
- (2) 第38期青森県社会教育委員の会議
  - 委員：8名 ※青森県生涯学習審議会委員との兼務
  - 任期：2年(R8/10/19～R10/10/18)
  - 調査研究テーマ：ふるさと青森を愛し、誇りに思う人づくりに向けた生涯学習・社会教育における推進方策について
  - 会議等(予定)：第1回会議(11月)

**市町村の社会教育に関する現状調査及び「青森県の社会教育行政」の作成 250千円**

**【事業目的及び概要】**

本県社会教育施策の企画・立案の資料作成を目的として、各市町村における社会教育事業実施状況及び社会教育施設・社会教育関係職員・生涯学習推進体制の状況等について調査する事業である。

**【事業内容】**

- (1) 市町村の社会教育行政調査
- (2) 市町村の生涯学習推進体制等の状況に関する調査
- (3) 「令和8年度青森県の社会教育行政」の作成配布(160部作成予定)

**重点(4) イ 社会教育施設の機能の充実と活用の促進**

**県総合社会教育センター**

**インフォメーションプラザありすの運営**

**【事業目的及び概要】**

生涯学習に関する総合窓口として、各種の相談対応のほか、視聴覚教材の貸出サービス、逐次刊行物の閲覧サービス等の業務を行う。また、SDGsに関する啓発コーナーを設けるなど、県民のSDGsに対する理解を深めるよう働きかけを行う。

**【事業内容】**

- (1) 窓口対応
- (2) 視聴覚教材貸出サービス
- (3) ありす内ラーニングスペース及びロビー等の整備
- (4) 所内展示スペースの整備

**県立図書館**

**県立図書館資料整備 67,031千円**

**【事業目的及び概要】**

県民の生涯学習の拠点として、充実した図書館サービスを提供することを目的に、利用者の幅広い学習のための資料や情報などの整備を図る事業である。また、令和3年度からは多様な利用者の読書機会を確保するため、電子図書館システムを導入し、電子書籍を閲覧することができるサービスを提供している。

## [事業内容]

図書、定期刊行物、視聴覚資料等の整備	
図書館	60,821 千円
(うち電子書籍)	5,280 千円)
近代文学館	6,210 千円

## 重点(4) ウ 社会教育関係職員の養成と資質の向上

## 県生涯学習課

## 社会教育主事有資格者育成派遣事業 643 千円

## [事業目的及び概要]

社会教育指導体制の充実を図り、社会教育主事有資格者を育成することを目的として、教育事務所等の指導主事、小・中学校・義務教育学校の教員を社会教育主事講習に派遣する事業である。

## [事業内容]

- 派遣研修(予定)：弘前大学社会教育主事講習
- 研修期間(予定)：7/21(火)～8/19(水)

## 生涯学習専門講座派遣事業 244 千円

## [事業目的及び概要]

生涯学習の振興において中核的な役割を果たす専門的職員を育成することを目的として、関係職員を中央研修に派遣する事業である。

## [事業内容]

- 派遣先：国立教育政策研究所社会教育実践研究センター
- 講座名：社会教育主事専門講座
- 派遣人数：1名

## 社会教育主事等一般研修 185 千円

## [事業目的及び概要]

生涯学習審議会、総合社会教育センター及び教育事務所の社会教育担当者の資質向上と更なる連携及び情報の共有を図ることを目的として、県社会教育関係職員が一堂に会し、生涯学習・社会教育に係る学習や情報交換をする事業である。

## [事業内容]

学習会を複数回実施し、情報交換や事業立案を通して、社会教育担当者の資質向上と連携及び情報の共有を図る。

## 県総合社会教育センター

## 生涯学習・社会教育関係職員研修講座 1,257 千円

## [事業目的及び概要]

生涯学習・社会教育関係職員及び関係団体職員等の資質向上とネットワーク形成を図るため、業務遂行に係る基礎的・実務的な研修及び地域課題の把握と課題解決につながる実践的な知識・技能の習得のための研修を実施する。

## [事業内容]

(1) 県総合社会教育センターを会場とした研修

- ア 対象：市町村教育委員会の生涯学習・社会教育担当職員及び公民館職員等(指定管理者も含む)
- イ 実施期間：4月～2月
- ウ 受講方法：会場受講及びアーカイブによる後日視聴(講義のみ)
- エ 開催回数：8回
- ※ 視聴覚教育に係る研修を含む。全8回のうち、1回は国や県の動向を伝える内容とする。

## 【社会教育の基本理念を学ぶ研修】

社会教育と生涯学習の目的や意義を学ぶ講座。地域社会で学びの場が求められる理由や社会教育の重要性について分かりやすく説明。新任職員や社会教育の基礎を学びたい方におすすめの2講座。

ア 開催日時	4/28(火) 10:00～15:00
イ 会場	第2教材開発室
ウ 内容	【講義・演習】「社会教育のきほんのき」 講師：弘前大学 教育学部 准教授 越村 康英

ア 開催日時	2/19(金) 10:00～15:00
イ 会場	第2教材開発室
ウ 内容	【講義・演習】「社会教育がつなぐ地域づくり」 講師：弘前大学 教育学部 准教授 越村 康英

## 【社会教育の多様なニーズへ対応するための研修】

社会教育が直面する多様化するニーズに対応するための専門的な知識や視点を学ぶ講座。地域社会や現場で求められる課題解決力を養い、実際の活動に役立つ具体的な方法を分かりやすく解説。現場での実践力を高めたい方や、社会教育の発展に寄与したい方におすすめの6講座。

ア 開催日時	6/5(金) 10:00～15:00
イ 会場	第10研修室
ウ 内容	【講義・演習】「効果的なチラシ作成のポイント」 講師：ディーシーティーデザイン 代表 蝦名 晶子

ア 開催日時	6/26(金) 10:00～15:00
イ 会場	第2教材開発室
ウ 内容	【講義・演習】「ゆるやかなつながりからはじめる地域づくりの実践」 講師：いちのせき市民活動センター センター長 小野寺 浩樹

ア 開催日時	7/17(金) 10:00～15:00
イ 会場	第2教材開発室
ウ 内容	【講義・演習】「次代の地域を担う若者の育成」 講師：大正大学 地域創生学部 教授 東京大学 名誉教授 牧野 篤

ア 開催日時	11/4(水) 10:00～15:00
イ 会場	第10研修室
ウ 内容	【講義・演習】「生成AI活用アイデアと社会教育での実践方法」 講師：エイチピースタイリング 代表 高森 三樹

ア 開催日時	11/12(木) 10:00～15:00
イ 会場	第2教材開発室
ウ 内容	【講義・演習】「共に学び支えあう社会教育の実践」 講師：文教大学人間科学部 教授 青山 鉄兵

ア 開催日時	12/3(木) 10:00～15:00
イ 会場	第2教材開発室
ウ 内容	【講義・演習】「防災の基本理念と地域の役割」 講師：一般社団法人男女共同参画地域みらいねっと 代表理事 小山内 世喜子

## (2) 市町村を会場地とした研修(外部講師による出前講座)

- ア 申込者：市町村教育委員会、公民館、地域学校協働活動及びコミュニティ・スクールに関わる団体、学校等
- イ 実施回数：10団体を上限とし、それ以上の依頼があった場合は、条件に基づき優先順位を付けて選定
- ウ テーマ

テーマ	内 容
1	「社会教育のきほんのき」 講師：弘前大学教育学部 准教授 越村 康英
2	「社会教育がつなぐ地域づくり」 講師：弘前大学教育学部 准教授 越村 康英
3	「効果的なチラシ作成のポイント」 講師：ディーシーティデザイン 代表 蝦名 晶子
4	「ゆるやかなつながりからはじめる地域づくりの実践」 講師：いちのせき市民活動センター センター長 小野寺 浩樹
5	「次代の地域を担う若者の育成」 講師：大正大学地域創生学部 教授 東京大学 名誉教授 牧野 篤
6	「生成AI活用アイデアと社会教育での実践方法」 講師：エイチピースタイリング 代表 高森 三樹
7	「共に学び支えあう社会教育の実践」 講師：文教大学人間科学部 教授 青山 鉄兵
8	「防災の基本理念と地域の役割」 講師：一般社団法人男女共同参画地域みらいねっと 代表理事 小山内 世喜子
9	「地域における家庭教育支援」 講師：八戸学院大学短期大学部こども教育学科 教授 差波 直樹
10	「地域学校協働活動の推進」 講師：秋田大学教育文化学部 非常勤講師 皆川 雅仁

## (3) 市町村等の社会教育に関する取組への伴走型支援

- ア 申込者：市町村教育委員会、公民館、地域学校協働活動及びコミュニティ・スクールに関わる団体、学校等
- イ 実施期間：通年
- ウ 内 容：当センターが実施する事業等のノウハウや専門職としての知見及び経験に基づいた、指導・助言・相談対応等
- <例>

- ・事業の企画・立案についての相談
- ・講師選定に係る相談
- ・ファシリテーターに係る指導・助言
- ・研修会等への講師または運営支援者としての職員派遣

## 県立図書館

### 市町村立図書館等職員研修事業 280千円

#### 〔事業目的及び概要〕

市町村立図書館等の運営上の課題解決、情報交換及び職員の資質向上を目的として、各市町村立図書館等職員及び学校図書館の業務を担当する職員に対し、研修を実施する事業である。

#### 〔事業内容〕

- (1) 市町村立図書館等職員初任者研修 年1回 6/9(火)～6/10(水)
- (2) 市町村立図書館等職員基本研修 年1回 9/17(木)

**図書館地区別研修事業 500 千円****〔事業目的及び概要〕**

図書館における司書等の力量を高めることを目的として、図書館法(昭和25年法律第118号)第7条の規定に基づき、情報化の進展など図書館に関する最新のテーマや地域における課題等について研修を実施する事業である。

**〔事業内容〕**

- (1) 期間 11月上旬～中旬の3～4日間を予定
- (2) 場所 県立図書館
- (3) 対象 北日本図書館関係職員(勤務経験が概ね3年以上の司書等)
- (4) 内容 基調講演、講義、演習

**重点(4) エ 社会教育関係団体等の活動の支援****県生涯学習課****在学青少年育成費補助事業 359 千円****〔事業目的及び概要〕**

青少年教育の機会拡充をより一層図ることを目的として、県内の在学青少年(高校生)を対象とした講演会事業に対して助成を行う事業である。

**〔事業内容〕**

- 実施場所：県内高等学校4校  
(県立木造高等学校、県立五所川原農林高等学校、県立百石高等学校、県立大間高等学校)